



「ビジネス視点でSDGsアクション」 始めてみませんか？

No.8

「SDGs」を存じですか？

SDGsは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標で、17のゴールと169のターゲットから構成されています。経済、社会及び環境の三側面における持続可能な開発を統合的取組として推進し、SDGsの達成に向け、世界中でその取組が進んでいます。



「ビジネス視点からのSDGsシンポジウム」開催

今年1月23日、ビジネスの場でもSDGsを活用してもらうための方策などについて考える「ビジネス視点からのSDGsシンポジウム」を開催しました。

基調講演「SDGsを活用したブランドディング」では、企業やスポーツチームなどのブランドディングやSDGsに深い知見のある株式会社エスリーブランディング 代表取締役 川田勝也氏より、企業のブランドティングにSDGsを活用し、各地域や企業などとの連携によって、新しい価値の創造にもつなげることができます。

●どのゴールにアプローチしていくのか？

SDGsの17ゴール全てについて考えることを通して、自社事業では考えてこなかつた社会課題に気づきビジネスが生まれることもあれば、17ゴールのうち、コアとなる事業部分を重点的に取り組む中

経済産業部では、県内企業のSDGsへの取組を加速化させため、様々な取組を行っています。今回はその取組をご紹介します。

基調講演の様子

基調講演の様子

たパネルディスカッションの内容の一部を紹介します。

●マーケティング視点からみたSDGsの推進の意義とは？

モノやサービスが豊富な現代において、売り込みしても必ずしも購買にはつながりません。今後、ミレニアル世代がユーザーなどに入ってくる中、マーケティングのひとつとして「社会のためになる」SDGsを共通言語として発信することが大切です。またSDGsを効果的に発信することで、イノベーションを起こせる可能性もあります。

●マーケティング視点からみたSDGsの推進の意義とは？

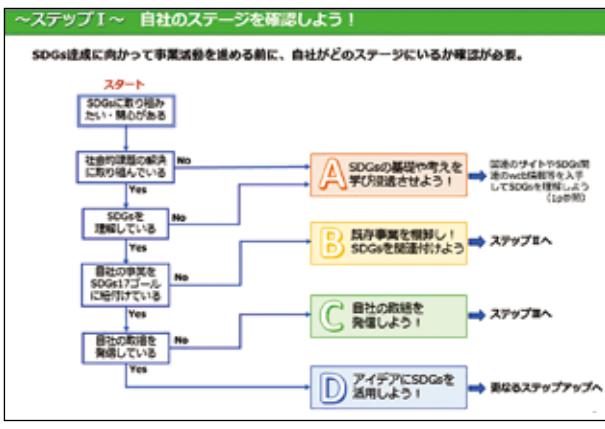
モノやサービスが豊富な現代において、売り込みしても必ずしも購買にはつながりません。今後、ミレニアル世代がユーザーなどに入ってくる中、マーケティングのひとつとして「社会のためになる」SDGsを共通言語として発信することが大切です。またSDGsを効果的に発信することで、イノベーションを起こせる可能性もあります。



パネルディスカッションの様子

ファシリテーター

- 伊波 貢 氏
(ブルームーンパートナーズ(株) 代表取締役)
パネリスト
- 川田 勝也 氏
(株)エスリーブランディング 代表取締役)
- 豊川 明佳 氏
(沖縄大学法経学部 准教授)
- 羽野 浩 氏
(株)OTS サービス経営研究所 代表取締役)
- 喜納 朝勝 氏
(沖縄県中小企業家同友会 代表理事)
- 鈴木 薫 氏
(独)国際協力機構沖縄センター 次長)



で積極的に取り組む企業や、沖縄だから保有する技術などもあり、世界に貢献できる可能性があります。自社の事業で社会にどう貢献していくか、具体的に考えるところからスタートしてほしい」と参加者へ向けてメッセージを送りました。

[SDGsチックツール] の公表



ローンチイベントの様子

SDGsへの取組に「じ」の足を踏んでいた企業の背中を押すため、検討委員会の議論を踏まえて「チェックツール」を作成しました。事業を棚卸しつつ、「」ゴールへ紐付けを行う際の参考とするためのツールです。なお、「」のようなツールはこれまで

にも様々なものが作成されています。経済産業部では、SDGsに取り組む前兆として活用ください。
チェックツールは当局経済産業部HPで公開しています。
<http://ogb.go.jp/keisan/20200203>

沖縄発！「スポーツSDGsアクション」スタート

当部が推進している沖縄スポーツ。ヘルスケア産業クラスター推進協議会では、社会課題を解決する商品・サービス提供を行う県内事業者と県内プロスポーツチームとともに、SDGsの達成に寄与する活動を目的とした「OKINAWA SS Project」を昨年10月19日に立ち上げました。地域の清掃活動への参加など取組を進めています。

そこで、沖縄地域の企業がSDGsに対する理解を深めつつ、自社の経営戦略に具体的に落とし込んでいく手順やその進め方などについて、ワークショップなどを通じて学ぶための『SDGs実装セミナー』を開催することとなりました。12月から3月にかけて合計6回の講座を実施予定です。SDGsへの理解を深めるためのカードゲームやワーク

で積極的に取り組む企業や、沖縄だから保有する技術などもあり、世界に貢献できる可能性があります。自社の事業で社会にどう貢献していくか、具体的に考えるところからスタートしてほしい」と参加者へ向けてメッセージを送りました。

で積極的に取り組む企業や、沖縄だから保有する技術などもあり、世界に貢献できる可能性があります。自社の事業で社会にどう貢献していくか、具体的に考えるところからスタートしてほしい」と参加者へ向けてメッセージを送りました。

沖縄初！「SDGs実装セミナー」開催



ショッピング等を体験してもらい、SDGsの7の目標と自社事業の関連性を踏まえて、改めて社会に貢献できる事業領域や商品・サービス等の検討を行い、最終的にはSDGsを組み込んだ事業計画を策定することを目指しています。

SDGsという概念が一般的に浸透し始めてきたとはいえ、「社会課題の解決」と「自社のビジネス」をどうリンクさせていくのか、どのようにマネタイズ（収益化）していくのか、その仕組みを構築するのは容易なことではありません。とはいっても、持続可能な世界を実現するための取組が、ビジネスの上の差別化戦略としての強みにもなり得ると期待されています。

実装セミの開催にあたっては、建設業、ホテル業、広告業、製造業、金融業、飲食・サービス業等の幅広い業種の企業（計11社）が参加し、企業種を超えた交流を重ねながら検討を行っています。3月に行われる各社の事業計画最終プレゼンテーションに向け、鋭意取り組んでいくといいます！

企画振興課
お問い合わせ先

098-866-1727
エネルギー対策課
098-866-1759